

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム  
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援  
2022 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2260
研究開発課題名	海中モビリティを用いた可視光通信による海洋センシングのフィージビリティスタディ
研究代表者	東京農工大学 大学院工学府 准教授 中山 悠

**総合評価**

コア技術の開発及び実用化に向けた体制構築等の活動が精力的に行われていると評価できる。センサーの実環境におけるロバスト性の検証や、代替技術に対する優位性の明確化、市場性を含めたビジネス面の検討など、実用化に向けた今後の進展を期待する。

以上